

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第185号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年7月4日（土） 20時44分ごろ	
発生場所	愛知県名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位179° 850m付近 （概位 北緯35° 00.1′ 東経136° 48.1′）	
事故等調査の経過	平成21年7月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>モーターボート <small>まるふく スリー</small> 丸福丸Ⅲ、5トン未満（登録長8.55m） 240-40530愛知、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底破口、推進器軸、推進器翼、舵板曲損等	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を同乗させ、船首約0.5m、船尾約0.9mの喫水で、名古屋港高潮防波堤中央堤南側沖に設けられた消波ブロックの南西側近くの水深約7～8mのところ、船首、船尾から錨を投入し、錨索をそれぞれ約10m延ばし、船首を南西方に向けて錨泊して魚釣りをしていた。</p> <p>本船は、船首の錨索が海底に擦れるなどして切断し、風により左回頭しながら消波ブロックに向けて圧流され、左舷船首が消波ブロックに近づいたため、船長が急いでエンジンを始動したが、平成21年7月4日20時44分ごろ、左舷船首が消波ブロックに乗り揚げ、次いで左舷船尾も消波ブロックに乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮末期、平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり なし あり</p> <p>本船は、名古屋港高潮防波堤中央堤南側沖の消波ブロックの南西側付近で錨泊中、船首の錨索が海底に擦れるなどして切断し、風により消波ブロックに向けて圧流された可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が名古屋港高潮防波堤中央堤南側沖の消波ブロックの南西側付近で錨泊中、船首の錨索が海底に擦れるなどして切断したため、風により消波ブロックに向けて圧流され、消波ブロックに乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	